

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	名古屋の歴史と文化		
担当者(Instructors)	小林 貞弘	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

地域の歴史や文化を学ぶことは、小中高の授業で学んだことを相対化することになる。そして、自分自身がどのような環境で形成されたのかを知ることもつながる。「今・ここ」で生きている自分自身とその歴史的・文化的背景をより深く理解することを目的とする。「名古屋の歴史と文化」について基礎知識を有し、愛情と誇りをもって、自分の視点から自分の言葉で語ることのできる人材を育みたい。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講師が作成したレジュメを使用する。学生には、講師の解説を聞きながら、レジュメの空白部分を埋めていくことが求められる。講師の指示以外にも、自分にとって必要な情報だと判断したのなら積極的にメモを取り、充実したレジュメを完成してほしい。取り上げる話題に応じて、視聴覚資料(画像・映像・音声)を随時使用する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーションと授業の全体像について	まずはオリエンテーションを実施する。そのあとで授業の全体像を示す。各回のテーマに関わる「名古屋400年の歴史」を概観する。それとともに、名古屋の文化の特性、外部から見た名古屋の評価や印象などについて確認する。	□
第2回	近世の名古屋について	名古屋の都市部がどのように形成され、それが現在の名古屋にどのように引き継がれていったのかについて論じる。 <キーワード: 徳川家康・徳川宗春・芸どころ・名古屋まつり など>	□
第3回	100万都市名古屋の誕生	明治時代に入って急速に近代化した名古屋について、博覧会など飛躍のきっかけになった主要な出来事を確認していく。産業や交通の変遷などについても取り上げる。最後に区の変遷にも触れ、現在の名古屋の全16区の特徴について大まかに話しておきたい。	□
第4回	名古屋と戦争	戦争が名古屋にもたらしたものと奪ったものについて、視聴覚教材をふんだんに使用しながら考えていく。名古屋城の焼失と戦後の再建に時間を割きたい。「風立ちぬ」「あとかたの街」「銃後の名古屋」など、戦争を背景にした作品を取り上げる。	□
第5回	名古屋で展開した文化・芸術活動	名古屋の文化・芸術活動に大きな功績を残した人物や潮流を紹介する。合わせてプロスポーツ文化についても時間の許す限り話したい。 <キーワード: 伊藤祐民・名古屋モダニズム・松坂屋・中日ドラゴンズ など>	□
第6回	繁華街の変遷	名古屋の繁華街が、戦前から戦後にかけて、大須・広小路・名古屋駅前と変遷していく過程を、映画館の変遷を取り上げて論じていく。合わせて、映画館と密接な関係にあった商店街についても論じる。千種区の今池についても語る予定である。	□
第7回	名古屋弁を愛する	名古屋弁の構造、他の方言にはないおもしろさについて考える。合わせて、名古屋を最も的確に表す擬態語について一緒に考え、提案しあう機会を持ちたい。 <キーワード: タモリ・河村たかし・役割語・社会言語学 など>	□
第8回	歌われた名古屋	名古屋を歌ったいくつかの知られざる名曲(迷曲)を幅広く取り上げる。歌詞と一緒に読み込んでいくことで、名古屋のイメージがどのように描かれてきたのかを考えていく。 <キーワード: 「白い街」・つボイノリオ など>	□
第9回	名古屋を味わう	名古屋独自の食文化(名古屋めしやモーニングサービスなど)について考える。名古屋発祥とされるグルメや名古屋土産などについても取り上げる。	□

第10回	名古屋嬢とは何者か	マンガやドラマのなかで描かれた名古屋嬢の生態や名古屋の結婚の風習などについて考える。 ＜キーワード：「加藤家にいらっしやい」・「名古屋嬢のエリカ様」・「ハイパーミディ中島ハルコ」など＞	□
第11回	マンガ・アニメのなかの名古屋	マンガの舞台になった名古屋の有名スポットを紹介し、今までの授業で触れられなかった話題を補足する。 ＜「かりん歩」(柳原望)・「八十亀ちゃんかんさつにっき」(安藤正基) など＞	□
第12回	映画のなかの名古屋①	地域映画が成立するための条件について論じる。いくつかの作品を断片的にみせながらロケ地を確認していく。 ＜キーワード：東山動物園・県庁・市政資料館・飛翔 など＞	□
第13回	映画のなかの名古屋②	「映画のなかの名古屋」①の続きである。②では、授業時間内に収まる中短編の作品をフルで鑑賞したい。候補としては「歪屋」「大仏廻国」などを考えている。	□
第14回	名古屋の観光について	13回目までの授業を踏まえながら、名古屋の観光資源・観光力について考える。授業の後半では、外に向けて名古屋の魅力を発信するためにはどうすればよいか、議論する機会を持ちたい。 ＜キーワード：都市魅力度ランキング など＞	□
第15回	名東区の今とこれから	名東区を舞台にした小説を取り上げる。作品を通して、千種区や日進や長久手と差別化できるような「名東区の魅力」がどこにあるのかを考える。後半では、学生が提出した課題について講師がコメントする機会にしたい。可能であれば学生が報告する機会にしたい。	□

#### ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

■日頃の学習に関しては、参考図書から授業内容に合致するところを探し、事前に目を通しておくことが望まれる（1時間程度）。受講後、レジメを読み返し、自分なりに要点をまとめておく（1時間程度）。teamsの課題を解答するとともに、問題と解答を書き出し、日頃からインプットに励んでおく（1時間程度）。試験の準備にも必ず役立つはずである。 ■レポートの内容は、授業内容に関するものであれば、概ね認めるつもりである。シラバスに目を通し、自分が何に関心を持っているのか（どんな内容なら楽しく書けるか）をはっきりさせたうえで、資料調査・現地取材（散歩）を継続してほしい（毎週1時間程度）。計画的に取り組み、それなりに時間をかけた、読む価値のあるものにする。スマホなどで簡単に調べて軽くまとめたものだと判断した場合「0点評価」もありえる。提出すれば点数がもらえるなど決して思わないように。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

■授業内容に関連したテーマでレポートを課す。独自の視点を盛り込んだもの、図や写真やイラストを含んだものだと評価が高い。手書きは原則不可とする。受講人数にもよるが、第15回目の授業で自分で書いたレポートについて発表する機会を設けることを考えている。 ■筆記試験では、授業を受けていれば十分に解答できるもの、常識的なものを出题する。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	①名古屋の歴史と文化について、基本的な知識を有しており、外部の人に対して説明することができる。 ②名古屋の未来に対する前向きなビジョンを、自分の言葉で積極的に発信することができる。 ③身近なものに関心をもち、それをわかりやすい文章にまとめることができる。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
80%				20%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

■「筆記試験」は、10回以上の正当な出席が確認できた場合に受けることができる。出席に関する不正行為、授業内での迷惑行為などがあつた場合は即時失格とする。  
■「その他（20%）」は、800字程度のレポート提出と授業内での発表で考えている。ただし、受講人数や授業の進行状況によって変更する場合もある。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)

1	伊藤厚史 「名古屋市歴史文化基本構想で読み解く再発見！ なごやの歴史と文化」 なごや歴史文化活用協議会	978-4833101899
2	名古屋市教育委員会 「ナゴヤ歴史探検」 びあ株式会社	978-4835637464
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	長屋良行 「名古屋の言い分」 ゆいぼおと	978-4877585518
2	清水義範 「日本の異界 名古屋」 ベスト新書	978-4584125595
3	名古屋市 「芸処名古屋」 創英社／三省堂書店	978-4990568610
4	陽菜ひよ子 「ナゴヤ愛 地元民も知らないスゴイ魅力」 秀和システム	978-4798061733
5	河合敦 「愛知の教科書（大人のための地元再発見シリーズ）」 JTBパブリッシング	978-4533150395